



貧乏美少女アニメーター
援交中出しセックス！



「あ、あの〜……。その、ムジキムジキも……。
え、エンコウ……。しませんか……。？」

(でも、エンコウって何をすればいいんだらう……。?)

モズ

モズ



「えっ、ここでパンツを見せるんですか……？
でも、見せたらそんなに頂けるんですね……？」

（電気代が払えちゃう……。
これも生活のため……）

どき

どきっ



「それじゃあどうぞ……。
あまりジロジロ見ないでください……」

(夜も遅いし、誰も来ないよね……?)



「これでよかったでしょうか？」

え、このパンツが欲しい……?

さらにお金はずんでくれるんですか？そ、そうならなら……」

「はい、どうぞ。」

「脱ぎたてホヤホヤです……」



「やだ、アソコがスースーしちゃうよお……」

ふん
……

「だ、におい嗅がないで下さい……！
良い臭いなワケ、ないじゃないですか……！」



「え、またスカートめくるんですか？
でもノーパンですよ……？」

「もう、もうなったらヤケクソだよ……」

ドキ

ドキ

「えいっ！」

「ご、これで満足でしょうか……？」

（お願い、本当に誰も来ないでえ……！）

ぱっ

ドキ



「え、次はごっこでするんですか？
そ、その……、おしっこ……を……」

キレ

キレ

キレ



(でも、これもお金のためだし……)

どき

どき

「わ、わかりました……。
おしっこしてみますね……」



「ん……。
うっ……、でない……」

んんん

んん

「いきなり出してって言われても、
なかなか出ませんよ……」

んん

んん



「あ……、きた……」

あっ

「あんまり近くで見ないでください……」

ぽろぽろ



(こんな時に限って、
いっぱい出ちゃう……！)

(くぅ……、とまらないい……。
音恥ずかしいなあ……)

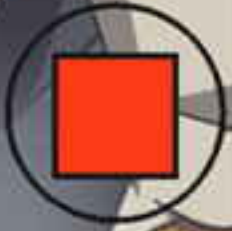


「って、何録ってるんですか!?!」

「ちよつ……」
「録るのはダメえ……」



00:02:58



ぽんぽん

「うう……。」

お外でおしつこするとご撮影されちゃうなんて、
恥ずかし過ぎる……。」

あつ

はあ

はあ

ほか

ほか

(でも、何だかすごい開放感……)



ずんっ

「え、何これ……？」
男の人のアソコってこんなに大きいの？
それに形も何だか可愛い……」
「今度はこれをどうするんですか？」

「な、舐めるんですね……。ぺろ……。うろ……」

ぺろお

(変な臭いだし、

先つちよから出てるのが苦い……)

「次は舐めるだけじゃなくて、

啜えるんですか？」

「じゅぽお……。うん……。
おひんひん大きすぎて、顎が外れそう……」

すむっ

ふゆん



「もっと激しくストロークするんですね？」

「じゅっぽーずじゅ……。ずぞ、ちゅぷらー！
おくひの中でゴツゴツしたおひんぼが、
脈打ってる……！」

チユパ

チユパ

チユパ



「え、で、出るってまじか……」
「ちよっまじ……」

どくんと

うん

ビュンッ





ハア

ハア

だらあ

ハア

ハア


「んはあ……んぐらう……。
これっでもしかして、セイエキ……。？
生臭くて変な味……。
それに、すごい量……」

びゅん

んんっ

「セイエキ飲んじやった……。
ドロドロしてて喉に引っかかっちゃう……」





もっとお金をくれると言っただけなので、
お言葉に甘えて、ホテルに行くことになりました……。

「え、そんないきなり脇のにおい嗅がないで下せら……
先にシャワー浴びたいんですけど……」



「きのう徹夜で忙しくて、お風呂入ってないのに……。
吐息がくすぐつたい……」

どき

はあ

はあ

はあ

どき

どき

すい

すい

「しかも臭い嗅ぎながら何でおちんちん弄ってるんですか……？
私の脇の蒸れた臭いに興奮してるんですか……？」



「ひゃっ！いな、舐めないでください……。
だ、だめえ……。舌がまとわりついて、さやうさやう……。」

きやっ

ぶさび...

ひん

フユツ

フユツ

フユツ





「ぎゅっ!!」

「うそ!? またセイエキ出ちゃってる!?」

びゅるるっ

ぎゅっ

「はあはあ……。う、うう……。」

さつき公園で出したばかりなのに、またこんなに射精してる……。
精液ってネバネバしてて生暖かくって、やっぱり苦手……。」

ハア

ハア

ハア

どろお

びくんっ

びくんっ



「次は四つん這いでお尻を突き出すんですね？
………どうですか？」

クイ

「お尻が良く見えるように
手で広げる……？
はい……、見えてますか？」

どき

どき

どき



「うううう そんなにじっくりみないでくださいいっ……」
顔近すぎです……」

ひく

ひく

（お尻のシワまで、
見られちゃってさっ……。

緊張してお尻がトクトクしてるの
ばれちゃうよ……）

かあああっ



「きゃっ！
そんな無理やりお尻広げないでください……！」

あいつ

むにい

「お尻の穴の中まで見られちゃってるう。
だめ、これ以上お尻ひろげないでえ」

きゃっ



びちゃ

「え、ウソ！
なんか冷たい！
もしかて……。」

だ、だめ！お尻舐めるのはもっとだめです！
汚いですから……、
舐めるのやめてくださいー！」

えっ

えっ



「あっ……そんな音をたてないでください。
ううお尻舐める音いやらしいよお……」

じゅぽ

じゅぽぽ

びくっ

びくっ

「きゃー！舌を中まで押し込まれてるう。」

おしりがなんだかムズムズしちゃうう……。

すごい変な感覚……。

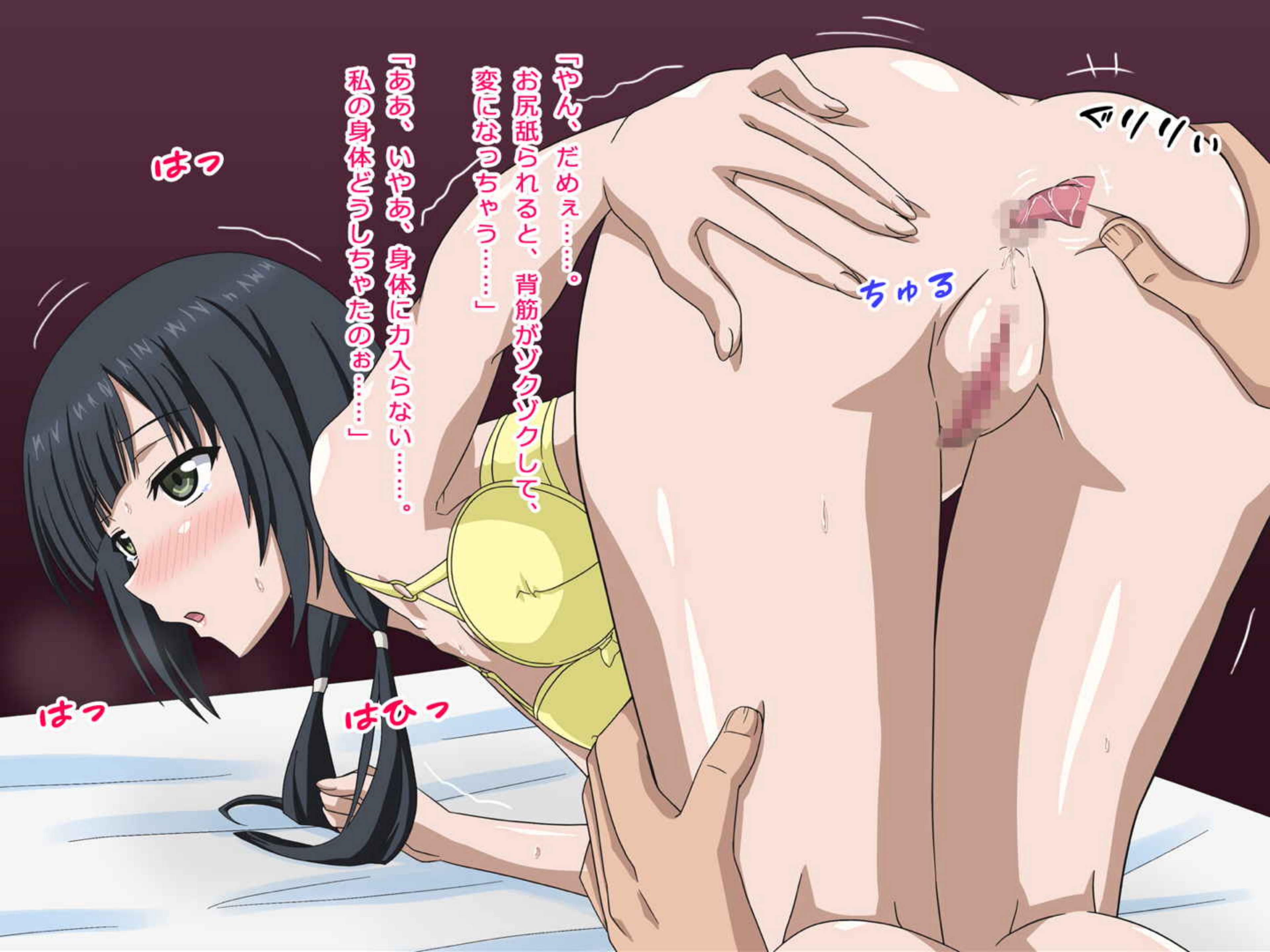
気持ち悪いのにすぐドキドキしてるう」

はあ

はあ

はあ





ギリギリ

ちゅる

「やん、だめえ……。」

お尻舐られると、背筋がツクツクして、
変になっちゃう……。」

「ああ、いやあ、身体に力入らない……。
私の身体どうしちやたのお……。」

はっ

はっ

はひっ

「ちよ、ちよっと……。
さすがに入れるのはダメですよ……。
え、素股……？」

「今度はお股に擦すりりつけるんですか？
それだけならいいですけど……」

はあ

はあ

ドキ

ぎい

ドキ

ドキ



(う、股に擦り付けるだけって言うっても、
これ、おちんちんがおまんこに
当たってるんですけど……。
それに、なんだかヌルヌルしてきてる……)

「え、ガマン汁？」

興奮すると出てくるんですか？

ガマン汁、すざざらやらしい音してる」

うっ

びくん



「え、うそ!?!」

入ってる?入ってません?

そ、そんな、入れないって言ったのに……。

先うちよだけ?

それでも入れてることに変わりないような……。

うっ……。だ、だめ……。

素股よりも刺激がつよいい……ひゃあん!

ま、待ってください!

これ以上奥は本当にダメです。

初めてなんです!だ、だめ!

ずぶっ

えっ



ズブ

ずぶずぶ

ズブ

「あああっ……いつ、いたっ！」

お願いします！

ぬ……ぬいてえ……ぬいてくらはいい……！！

お金もつと多めに出すとか、
そんな問題じゃ……あっ……！！

ひい……



「あれ、さっきまで痛かったのに……、
痛くなくなってきた……。
もしかしてガマン汁のおかげ……？」

痛くなくなってきたら、
ダンダンあそこが気持ちよくなってきた……！！

あ……、そこ！そんな奥まで……！！
あっ……あう……激しすぎますう……！！
やだ……、わたし、初めてなのに……、
感じちゃってる……んはあ！」

くちゅ

くちゅ

あっ

あっ

☆

☆



びっくん!

「んはああああ!
ぞ、そんな中はらめええっえー!」

びるるっ



「はあはあ……。」

もしかして、中に出されて私、
いっちゃったの……？

膣内はらめなの……。

う、うう……。

中出しセックス気持ちよすぎるよお……。」

うっ

ハア

ひくっ

ひくん

ハア

ハア



「ちよ、そんなあ……。さつき出したばかりなのに、またするんですか……。? しかもまた生で……。こんなにいっぱいしたら、身体がもたないです……!」

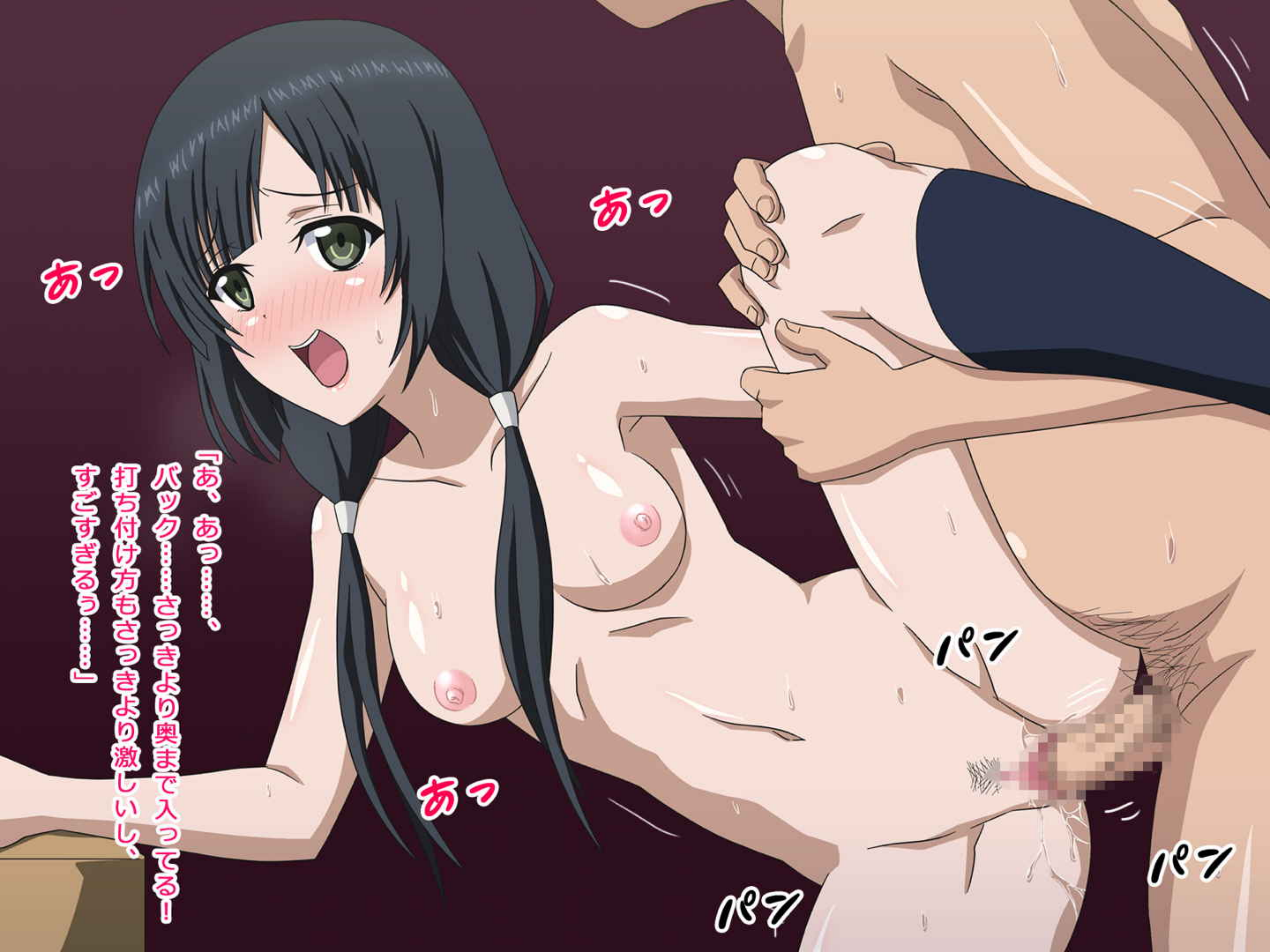
どき

どき

どき

ずぶっ





あっ

あっ

「あ、あっ……、
バツク……さっきより奥まで入ってる！
打ち付け方もさっきより激しいし、
すごすぎるっ……」

あっ

187

187

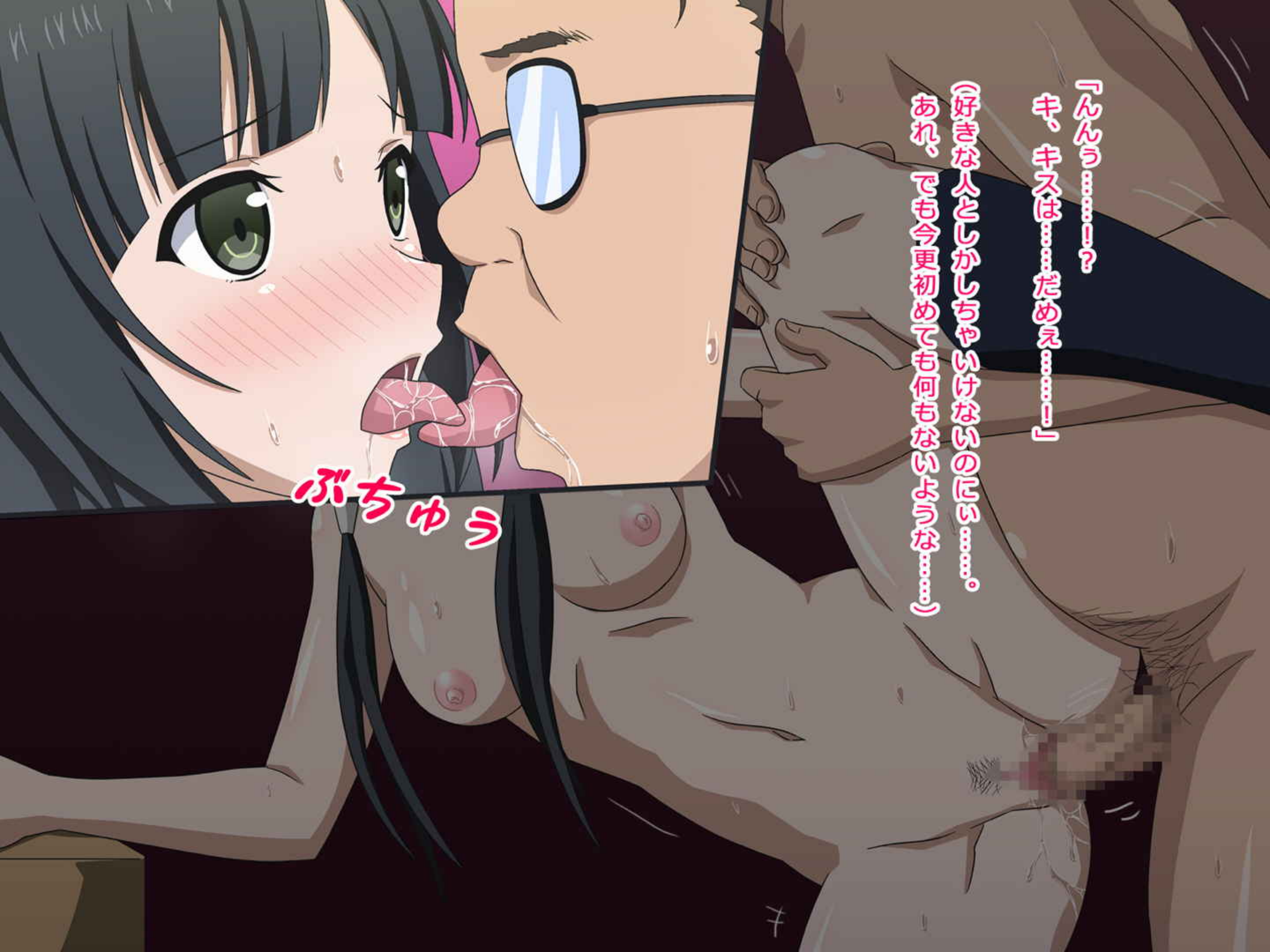
187

「んんう……!？」

キ、キスは……だめえ……!」

(好きな人としかしちやいけけないのに……。
あれ、でも今更初めても何もないような……)

ぶちゅう



「ちゅぶ……、ちゅぱ……、れるお……」

（あ、これ……、舌が絡みあう音が、
脳に直接響いて気持ちいい……。
オマンコと頭が同時に気持ちよくなってる……♡）

「は……、んはあ……」

もっと、もっと突かれながらキスしたいかも……。
れる、えるお……じゅぷ……♡」

れろお

ジュル

れろ

はあ

はあ

「はあ……はあ……。あうう……。

中出しせつくすで、いつちやった……。

こんなに気持ちよくてお金も貰えるなんて、
最高だよお……♡」

（これで家賃も払えて、

お仕事続けられるぞ……♡）

ひくん

ひくん